

250cc 高回転型 エンジンの特徴

**エンジン口金部がきちっと装着されていないと
60km以上及び8000回転以上回らない状況になります。**

**口金部は排気もれのないよう装着してください。
尚、ガスケットは新品と交換してください。**

※必ずお読みになってください

黒塗装のご注意！！

当社の塗装は純正メーカーにおいて、ペイントされた最高級の塗装です。マフラーを取付け後、3分ぐらいアイドリングで温めて、一度エンジンを切って冷ましてから、再度エンジンをかけてください。そうすると、塗装が剥れにくくなります。

ご注意！！

当社の製品は無改造で装着することができ、車両等へ支障及ぼすことはありませんが、

まれにエンジンの異常燃焼の熱によりフェンダー、ワイヤー等への破損の恐れがある車両があります。この場合は、クレームの対象にはなりません。

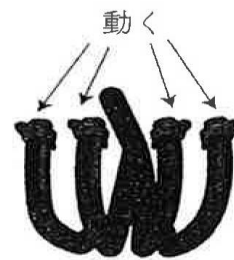
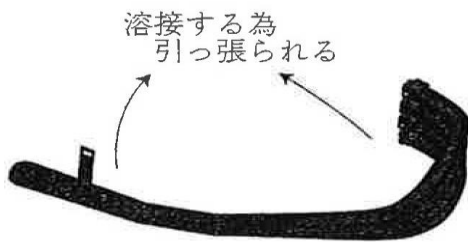
なお、溶接の不備によるクラックおよび脱落で破損をきたした場合は、ご購入頂いた当社商品の範囲内の保証とさせていただきます。ご了承ください。



一体式直管マフラー(ワンピース)の特質 及び取付装着時の注意事項

直管マフラーの特性上、製作時において、口金及びステーはオートバイのエンジン、車体と同じ治具を基にエキパイは口金をエンジンポート内で固定しその位置へパイプを差し込んで溶接します。また、ステーは車体本体へ先に固定し、その位置へリアテールを当てて溶接する為、口金・ステーの位置は100%狙いが生じることはありません。

では、なぜ排気もれ及びステー位置がずれるのかと言いますとそれは、溶接を終えて治具からマフラーをはずすと、内側に縮もうとする現象が現れるからです。

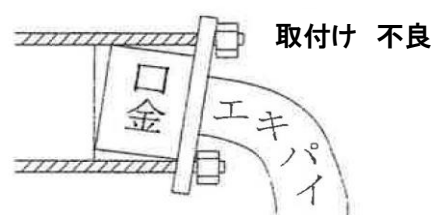
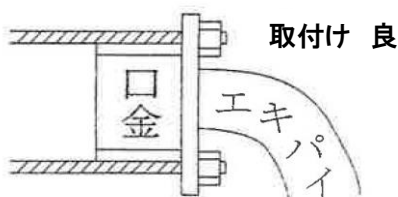


● 不適切な取付けによって見られる主な症状

- ①エキパイより排気もれを起こす
- ②ステーの位置が前方に 20 mm～50 mmずれている

● 対策

- ①フロントエキパイは、前後左右に動く為、硬いですが、一本ずつ前後左右に動かし確実にポートに差し込んで、仮止め状態にする。(下図参照)



- ②フランジは、エキパイごとに均等に締める。(仮止めの状態で本締めはまだ行わない)
 - ③先にステーは仮止めし、次にフロントエキパイの順に作業する。
 - ④エキパイを確実に一本、一本均等に締め付けていき、最後に本締めをします。
- ※また、古いオートバイなどで、フレーム、ステップなど歪みが出ている場合がありますので注意して下さい。

取り付けに関しご不明な点がございましたら、ご購入頂きました販売店にご相談下さい。

(株)エムテック・中京

【より安全にご使用していただくために、必ずお読みください。】

- ご使用の前に必ずお読みください。取扱説明書は、製品を破棄されるまでお手元に保管してください。
- 取扱説明書に反した使用により損害が生じた場合、当社は賠償の責を負いません。
- 製品についてお気づきの点は、事前にご連絡ください。
- 重要保安部品の取扱いは、プロのメカニックにより認証工場などで行ってください。

警告

1. 当社指定車種・部品以外の取り付け、装着は行わないでください。取り付けに不具合が生じ、製品の特性を損ないます。
2. 製品を分解、改造しないでください。製品の機能が損なわれ、故障等の原因となります。
3. 火傷等を未然に防ぐ為、作業はエンジンが完全に冷えた状態で行ってください。
4. 作業時でのオートバイの転倒による怪我を防ぐ為、水平な場所で車体を安定させてから作業を行ってください。
5. パイプ等のエッジ部分は肉厚が薄い為、手などを切ったりすることがないように、軍手を装着し、注意して作業を行ってください。
6. キャブレターやエンジンを車両の諸元と変更されている場合は、各部のセッティングを行っていただく必要があります。
7. 取り付け前に必ず車種専用サービスマニュアルを用意して作業を行ってください。
8. 取り付け後、必ず各部の干渉などの問題がないことと、ボルト、ナットの締め忘れがないよう確認してください。
9. 取り付け後、走行距離100km到達時で一度ボルト、ナット類の緩みがないか点検し、必要があれば増し締めを行ってください。
10. レース専用パーツに関しては、装着後のクレーム、及び故障、事故について当社は一切の保証、責任を負いません。
11. 組み付け不良、メンテナンス不良、又は使用状況の誤りにより発生した事故、破損、及び取り付け工賃に関して、当社は一切の保証、責任を負いません。
12. 当社指定車種・部品以外の取り付け、装着により発生した事故、破損、及び取り付け工賃に関して、当社は一切の保証、責任を負いません。

注意

1. エンジン始動中、及び停止後しばらくの間は、マフラーは高温になっています。触れられますと火傷等の負傷を負う恐れがありますので、絶対に動物や人が触らない場所を選び保管管理してください。
2. エンジン始動中、及び始動後しばらくの間は、マフラーは高温になっています。火災の原因となる為、絶対近くにガソリン等の危険物や燃えやすい布などは置かないでください。
3. エンジンを始動させる場合は、換気のよい場所で行ってください。排気ガスにより、一酸化中毒になる恐れがあります。
4. 各ボルト、ナットはサービスマニュアルに従い、指定トルクを厳守し、締め付けを行ってください。ボルト、ナットの破損や緩みの原因となり、部品の脱落等による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。
5. 構造上、最低地上高が低くなる場合があります。転倒による死亡事故を防ぐ為、マフラーを接地させる無理な運転操作や段差等でマフラーを接地しないようにしてください。
6. お客様による分解や修理・改造は危険ですので行わないでください。修理の際はお買上げの販売店又は当社にご連絡ください。
7. レース専用パーツに関しては、一般公道では使用しないでください。
8. 車両の点検、及びメンテナンスは定期的にお客様の責任において行ってください。